

GT-ROLLER T1

取扱説明書

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください

2019.12.20 版



目次

はじめに	2
安全にお使いいただくために	2
GT-Roller T1 について	3
同梱品	3
各部名称	4
組み立て方法	4
各種調整方法	8
フロントローラーの位置調整	
ステップシールについて	
負荷の調整	
負荷特性（参考）	10
使用上の注意	10
保管について	
ベルトの交換について	
製品仕様	10

はじめに

このたびは、GROWTAC の製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

「GT-Roller T1」は、「安全・静か・幅広いトレーニングが可能」と、従来の 3 本ローラーの欠点を解消しつつ、高剛性・低振動設計による「超上質な乗り心地の良さ」を実現した 3 本ローラーです。

安全に正しくご使用いただくため、お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みください。

本取扱説明書の内容並びに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

最新の情報は弊社ホームページ（www.growtac.com）をご確認ください。

本製品によって、お客様のサイクルライフがより一層豊かになることを心から願っております。

本製品を使用したことにより生じたお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきまして、株式会社グロータックは一切その責任を負いかねます。

安全にご使用いただくために



本製品は誤ったご使用をされますと、製品の故障やけがの原因となることがあります。本取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

また、本取扱説明書はいつでも確認ができる場所に保管してください。

- a. 異常を感じた場合は、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、製品の破損や事故の原因となります。
- b. 製品を破損させた場合には、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、転倒等の事故の原因となります。
- c. 屋内及び砂やホコリ、水等がない環境で使用してください。
屋外で使用した場合、製品が故障する原因となります。
- d. 水や汗等が付着した場合、すぐに拭き取ってください。
放置した場合、製品の破損や事故の原因となります。
- e. 泥が付着したタイヤで使用しないでください。
製品が故障する原因となります。
- f. トレーニング中及びトレーニング直後のローラーパイプには触れないでください。
ローラーパイプは非常に高温になります。手等で触れると、火傷をする原因となります。
- g. 製品使用中に、ブレーキをかけないでください。
ブレーキをかけた場合、製品等の破損や事故の原因となります。
- h. 分解や改造をしないでください。
破損や転倒等の事故につながる原因となります。
- i. 直射日光の当たる場所や、高温になるところに置かないでください。
製品が変形する原因となります。
- j. 本取扱説明書に従ってご使用ください。
従わない場合、製品の故障やけがの原因となります。
- k. 安全な環境で使用してください。
安全な環境で使わない場合、製品の故障やけがの原因となります。
- l. E-BIKE(電動アシスト等) で使用しないでください。
製品の破損や事故につながる原因となります。
- m. 本製品の制限体重は、100kg(自転車含まず) です。
制限体重を超えての使用は製品の破損や事故の原因となります。

GT-Roller T 1 について

「GT-Roller T1」は、「安全・静か・幅広いトレーニングが可能」と、従来の3本ローラーの欠点を解消しつつ、高剛性・低振動設計による「超上質な乗り心地の良さ」を実現した、3本ローラーです。

推奨する自転車

- ・ホイールサイズ：700C、27 インチ
- ・ホイールベース：950-1090mm

設置場所

- ・できるだけ水平な場所に設置してください。
- ・砂利、未舗装路など凸凹のある場所には設置できません。

乗車前（トレーニング前）の確認

- ・GT-Roller T1 や使用する自転車 に損傷等がないことを確認してください。損傷等があった場合、ご使用中に破損し、転倒する可能性があります。
- ・タイヤの空気圧がタイヤメーカーの指定空気圧であることを確認してください。
空気圧が低い場合、タイヤサイドに亀裂が生じたり、パンクすることがあります。
- ・タイヤサイドのひび割れなどが確認をしてください。
タイヤが劣化や痛んでいる場合、タイヤが裂ける恐れがあります。
- ・タイヤに砂などの付着、異物の食い込みがないか確認してください。
砂などの付着、異物の食い込みがあるタイヤを使用すると、ローラーパイプが異常摩耗します。
- ・フロントローラーの位置が、使用する自転車のホイールベースに合わせて調整されていることをご確認ください。
フロントローラーの位置が調整されていない場合は、本取扱説明書 P.8 に従って調整して下さい。

同梱品

同梱品がそろっているかお確かめください。

※不足がある場合は、お手数ですが、support@growtac.com までご連絡ください

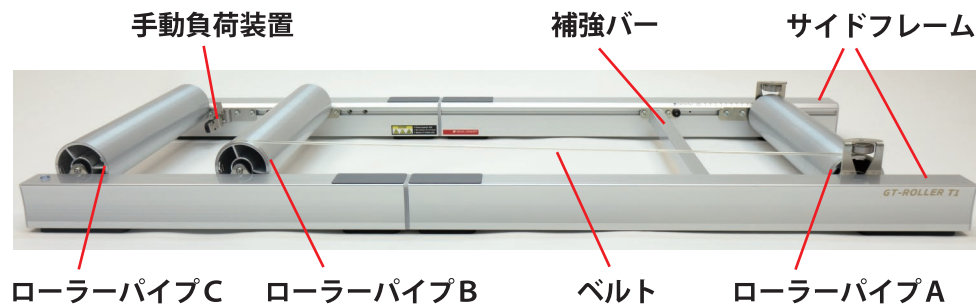
1. サイドフレーム	2本
2. 補強バー	1本
3. ローラーパイプ A	1本
4. ローラーパイプ B	1本
5. ローラーパイプ C	1本
6. 手動負荷装置	1ケ
7. ボルト A (M6×10mm)	4本
8. ボルト B (M6×22mm)	14本
9. ベルト	2本（予備1本含む）
10. ステップシール	4枚
11. 手動負荷調整シート	1枚
12. 組み立て用ダンボール A	1ケ
13. 組み立て用ダンボール B	2ケ
14. 組み立て用ダンボール C	4ケ

※組み立て用ダンボールは組立後にも使用する場合（ベルト交換時等）があるため捨てないでください

- ・取扱説明書（本書）
- ・保証書

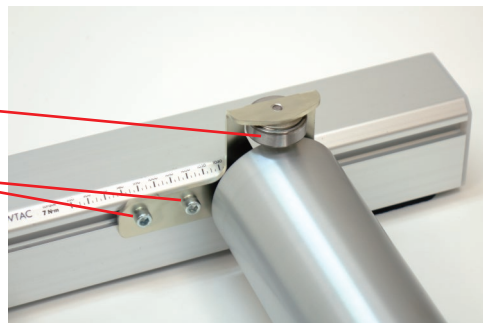


各部名称

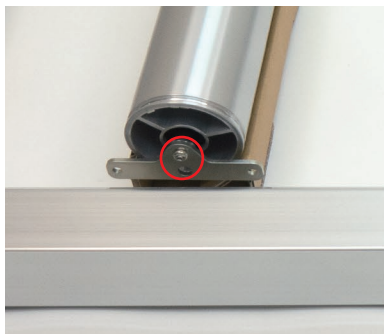


脱輪防止ローラー

ボルトA



下図の赤丸で示した、ローラーパイプに取り付けられているトルクスネジ（計6本）は**外さないでください**。



組み立て方法

本製品をご使用いただくためには、組み立てを行う必要があります。
また、組み立てには、右図のようなボールポイント付き 5mm 六角レンチの使用を推奨します。

※品質向上のため、製品を組み立てた後に実走によるテストを行っております。そのため、新品の製品でも組み立てた跡がある場合がございます

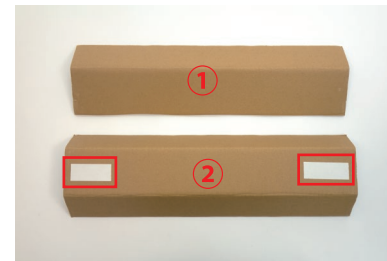


ボールポイント

1. 組立用ダンボールを組み立てる

下図を参考に、赤枠で示された両面テープの剥離紙を剥がし、組立用ダンボールを重ねて貼り付けます。

組立用ダンボールA



組立用ダンボールB



組立用ダンボールCの角を組立用ダンボールBの角に収まるよう貼る

組立用ダンボールC

2. サイドフレームをならべる

サイドフレームを固定している青いテープを剥がします。

次に下図1のようにサイドフレームの溝が内側を向き、サイドフレームのヒンジ部（折れ目）から長い方をフロント側にして置いてください。

下図2を参考に、組立時にはヒンジ部分がねじれるような力が加わらないよう注意してください。

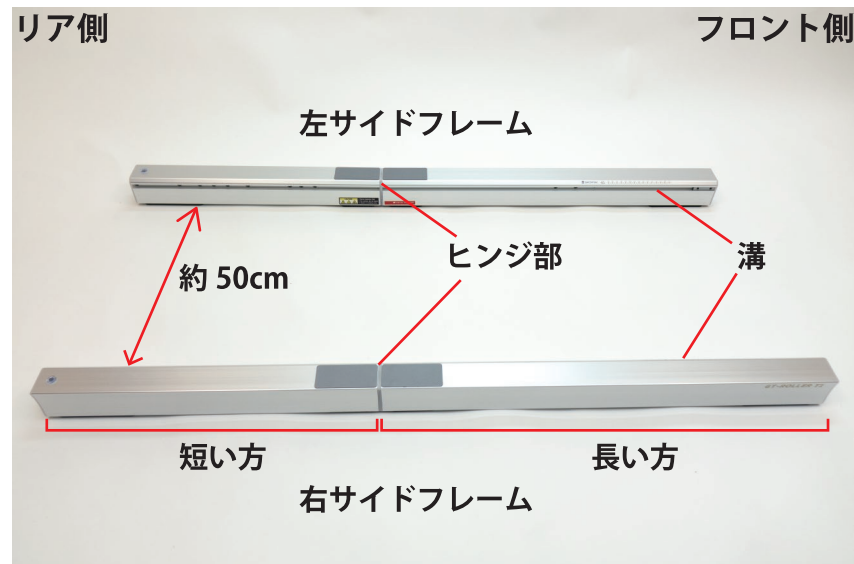


図1

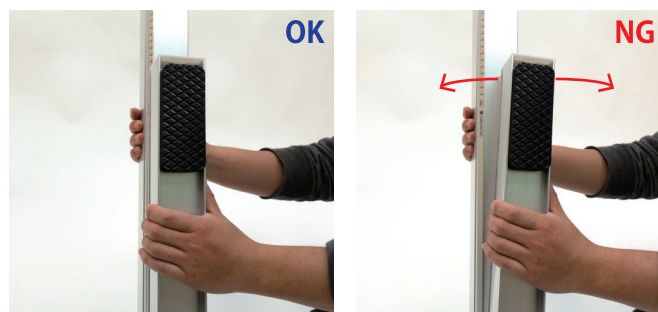


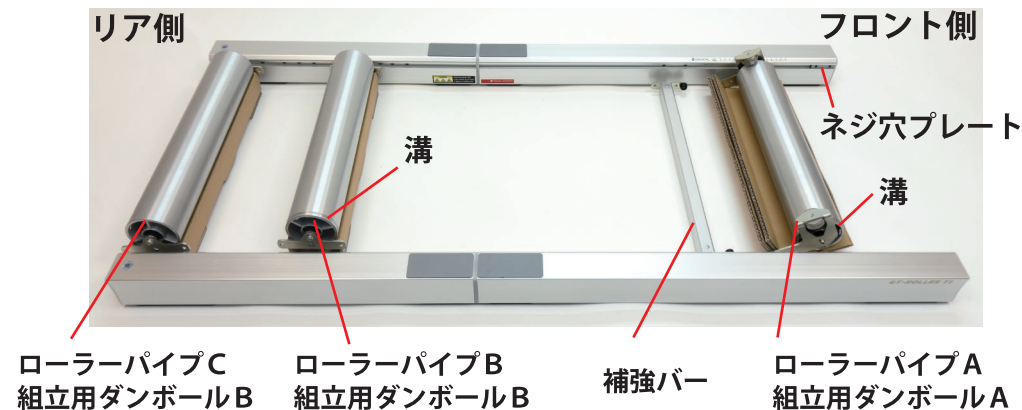
図2

3. 組立に必要なものをならべる

下図のように、ローラーパイプと組立用ダンボール、補強バーを向きに注意して配置します。

ローラーパイプAとローラーパイプBは、ふちに溝がある方を右サイドフレーム側に置いてください。

また、サイドフレームの溝内にあるネジ穴プレートは、左右ともにフロント側に寄せてください。



4. 補強バーを取り付ける

補強バーを左サイドフレームに 5 mm 六角レンチを使用して、ボルトB (2本) で仮止めします。

右サイドフレームには、まだ組み付けないでください。



5. ローラーパイプ A を取り付ける

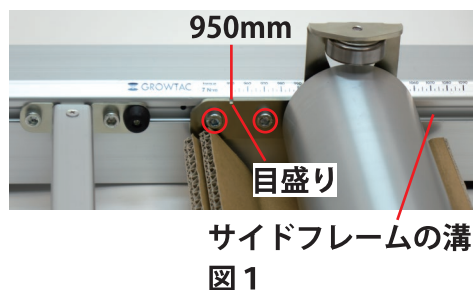
5-1

右図のように、ネジ穴プレートの右端面を左サイドフレームに記されている目盛りの 980mm の位置に合わせてください。右サイドフレームはまだ合わせる必要はありません。



5-2

図 1 のように、ローラーパイプ A を 950mm の目盛りの位置に合わせた後、ボルト A (2 本) を使用して、ネジ穴プレートに仮止めしてください。右サイドフレームには、まだ組み付けしないでください。



その際、図 2 を参考にローラーパイプ A に予め取り付けられているネジの頭をサイドフレームの溝に必ず入れてください。

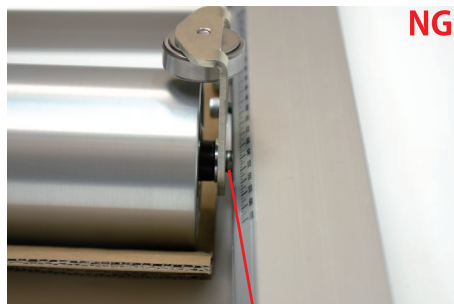
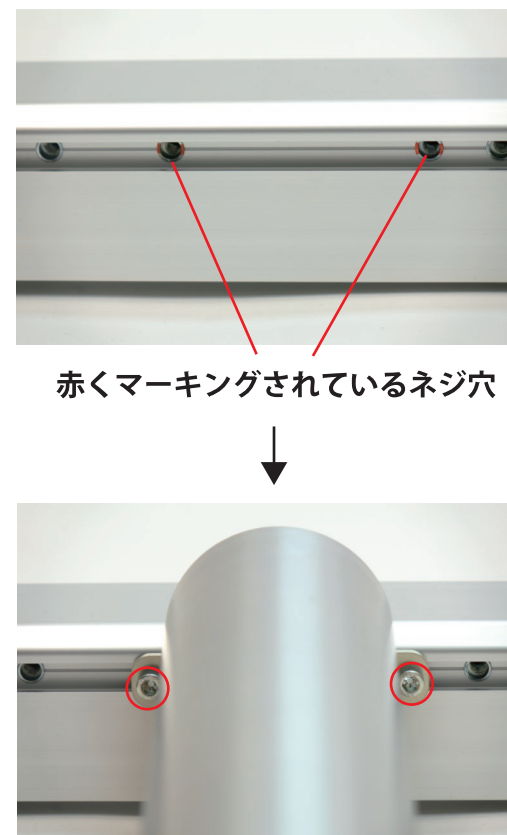


図 2 ネジの頭がサイドフレームの溝に入っていない

6. ローラーパイプ B を取り付ける

下図を参考に、左サイドフレームの赤くマーキングされているネジ穴にローラーパイプ B を、ボルト B (2 本) を使用して取り付けます。右サイドフレームには、まだ組み付けしないでください。

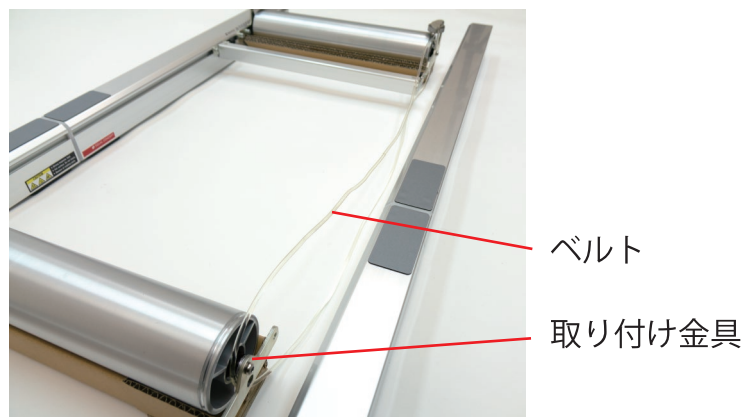


7. ローラーパイプ C を取り付ける

手順 6 と同様に、左サイドフレームの赤くマーキングされているネジ穴にローラーパイプ C をボルト B (2 本) を使用して、仮止めしてください。右サイドフレームには、まだ組み付けしないでください。

8. ベルトを取り付ける

ベルトはローラーパイプAとローラーパイプBの溝にはかけず、下図のようにローラーパイプと取り付け金具の間にベルトをかけてください。その際、必ず補強バーをベルトの中に通してください。



9. 右サイドフレームに組み付ける

左サイドフレームに補強バーとローラーパイプA,B,Cを組み付けた時と同じ手順で、右サイドフレームにも補強バーとローラーパイプA,B,Cを組み付けて、ボルトを仮止めしてください。

10. ボルトBを本締めする

全てのボルトBを以下の指定トルク値で締めてください。
指定トルク値：7 N・m

11. 手動負荷装置を取り付ける

11-1

図1を参考に、左サイドフレームのネジ穴にボルトB(2本)を使用して、手動負荷装置を取り付けてください。
その際、ボルトは完全には締めず、図2のように手動負荷装置が矢印の方向に動く程度で固定してください。

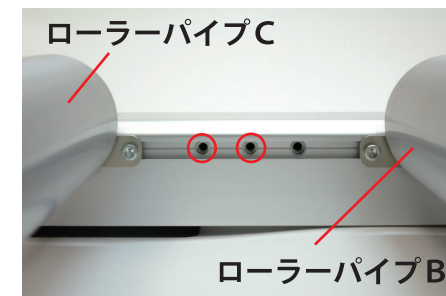


図1



手動負荷装置には、強力な磁石がついています。取り扱いには、十分ご注意ください。

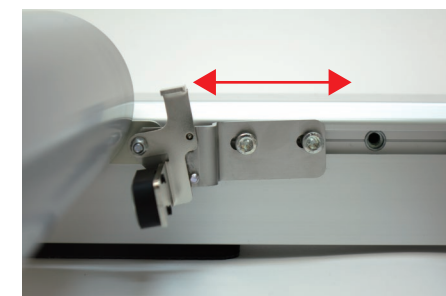
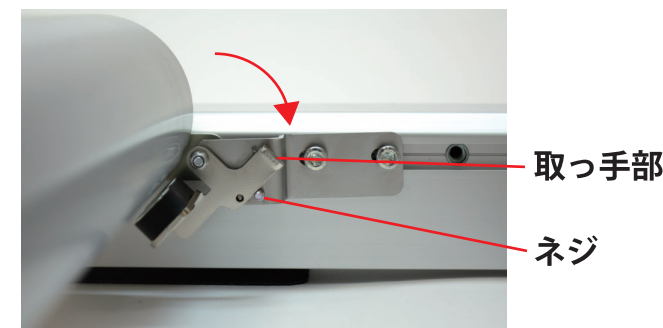


図2

11-2

下図を参考に、手動負荷装置の取っ手部を矢印の方向にネジに当たるまで動かしてください。



11-3

ローラーパイプと手動負荷装置の磁石の距離間を適切にするため、
図1のように、手動負荷装置の磁石とローラーパイプの間に手動負荷調整シートを挟みながら、取り付けたボルトB(2本)を締めてください。

指定トルク：7 N・m

図2,図3を参考に、手動負荷調整シートを挟みこむ際には、手動負荷装置全体を覆わないよう注意してください。手動負荷装置全体を覆った場合、ローラーパイプと手動負荷装置の磁石の距離間が適切になりません。

手動負荷調整シート



図1

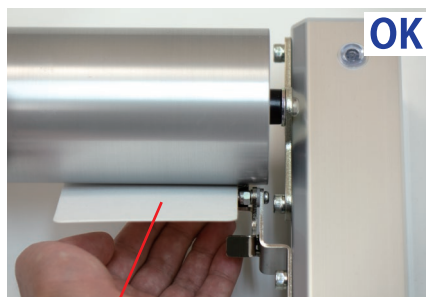


図2

負荷調整位置シートが手動負荷装置の磁石だけに接触している



図3

負荷調整シートが手動負荷装置全体を覆ってしまっている

各種調整方法

フロントローラーの位置調整

1. ベルトのテンションを確認する

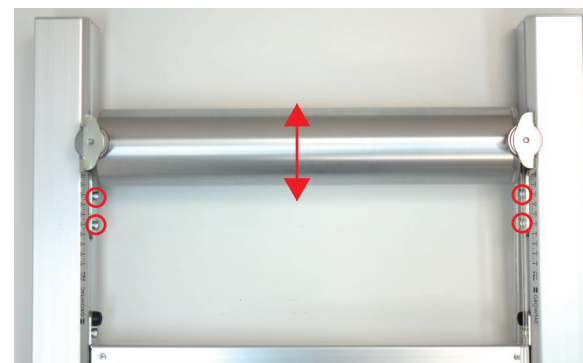
下図のようにローラーパイプA,Bともにかかっているベルトが溝の外側に出ており、ベルトにテンションが掛かっていない（伸びきっていない）ことを確認してください。



ベルト

2. ボルトAを緩める

下図内の赤丸で示した、ボルトA(計4本)を緩めて、ローラーパイプAが矢印の方向に動くことを確認してください。



3. フロントローラーの位置を調整する

使用する自転車を GT-Roller T1 に載せ、ハンドルを真っすぐにします。次にフロントハブの中心下から 15mm 延ばした位置に、ローラーパイプ A の目盛りを合わせてください。自転車のホイールベース値に対して、+15mm の位置を基準値とし、基準値から好みに応じ調整してください。

Tips!

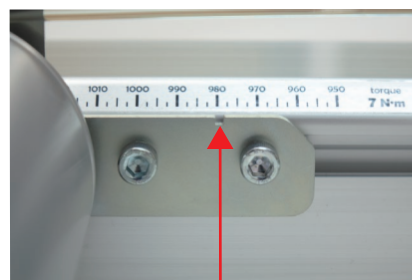
基準値よりもフロントローラーの位置を近くすると、自転車が前方に飛び出しやすくなりますが、実走時に近いハンドリングになります。

基準値よりもフロントローラーの位置を遠くすると、自転車が前方に飛び出しにくくなりますが、実走時とは異なるハンドリングになります。

GT-Roller T1 の負荷を重くした状態で使用した場合、自転車が前方に飛び出しやすくなりますので、負荷を重くした場合にはフロントローラーの位置を遠くすることを推奨します。



ローラーパイプ A の中心がフロントハブの中心よりも 15mm 前方にある



※図内の自転車のホイールベースは、965mm です。そのため、ローラーパイプ A の目盛りは 980mm に合わせています。

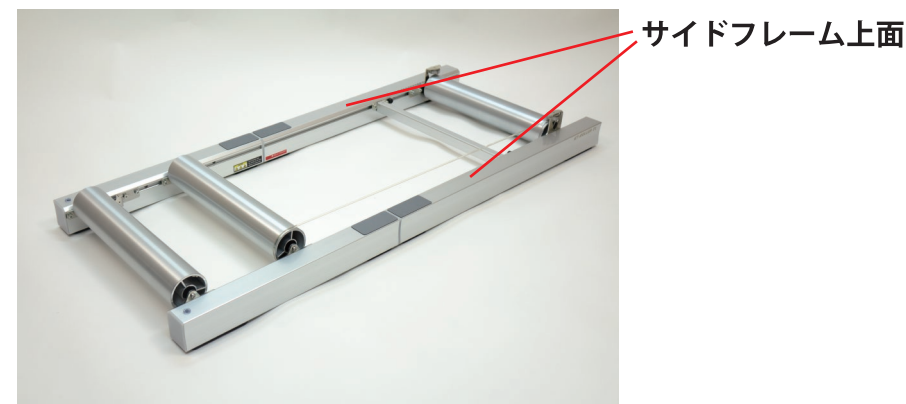
4. ボルト A を締める

サイドフレームに記されている目盛りを参考に、ローラーパイプ A が左右同じ位置に来ているか確認した後、ボルト A を締めてください。

指定トルク：7 N・m

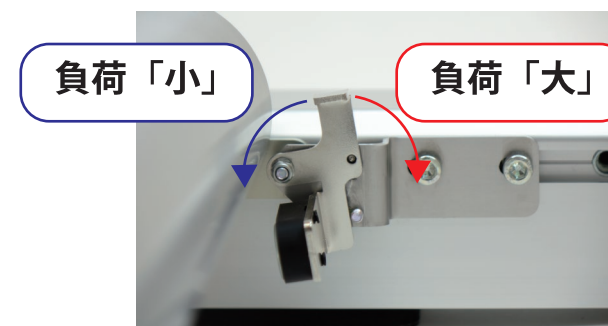
ステップシールについて

乗降時に足をつきやすい箇所（サイドフレーム上面）に、滑り止め・傷つき防止のため、付属のステップシールを貼ってください。



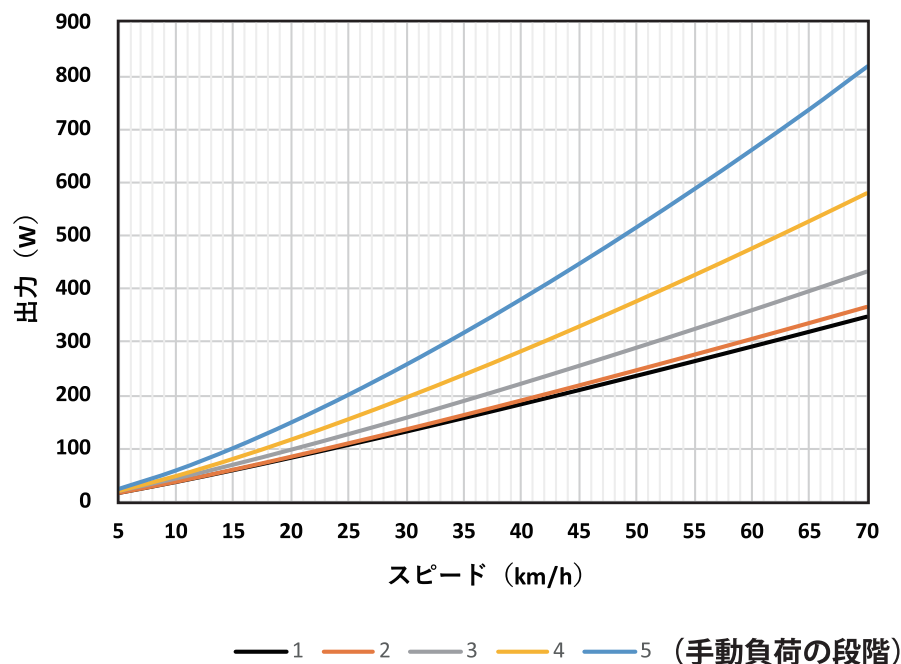
負荷の調整

手動負荷装置を動かすことで、5 段階の負荷調整を行うことができます。



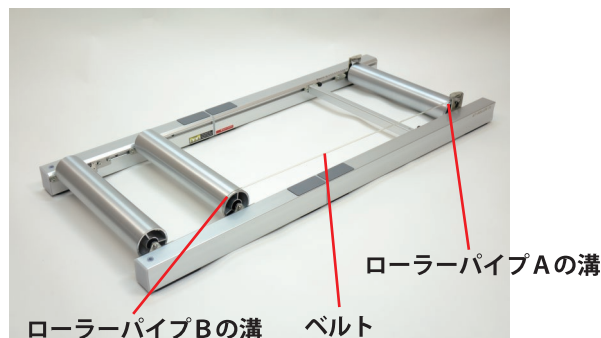
負荷特性（参考）

使用者の体重や使用環境（タイヤの銘柄等）で数値は変化します。



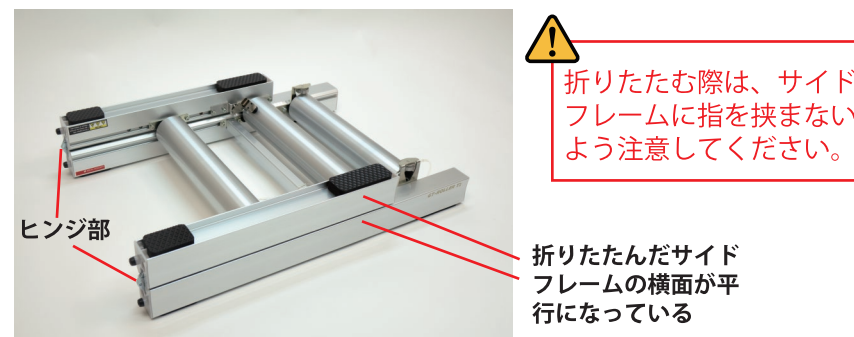
使用上の注意

本製品を使用する際には、ベルトがローラーパイプAとローラーパイプBの溝にはまっているか、必ず確認してください。



保管について

使用後は、下図のように折りたたんでください。
本製品を折りたたんだ状態で保管すると、ベルトへの負担が軽減され、**ベルトの寿命を延ばす**ことができます。
保管時は、縦置き、横置きどちらでも構いません。
また、持ち運ぶ際は、ヒンジ部分にねじれるような力が加わらないよう、折りたたんだサイドフレームの横面が平行になっている状態で持ち運んでください。



ベルトの交換について

ベルトが伸びきってしまった、もしくは切れてしまった場合には、【組み立て方法】の手順3を参考に、組立用ダンボールを各ローラーパイプの下に配置してから補強バーとローラーパイプA,B,Cを右サイドフレームから外し、予備ベルトと交換してください。

製品仕様

製品サイズ

使用時：W1320mm × D570mm × H100mm

折り畳み時：W790mm × D570mm × H160mm

製品重量：約 13kg

制限体重：100kg（自転車含まず）